

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	胆管結石内視鏡治療後の遺残に関する検討
該当者	2020年1月1日から2021年12月31日までのあいだに、当院で胆管結石に対する内視鏡治療を受けられた方
当院の研究責任者	消化器内科 赤松学
研究代表者	消化器内科 赤松学
本研究の目的	胆管結石の内視鏡治療を行った場合に、一度の治療ではすべての結石を除去しきれずに一部残存する場合があります、その頻度や原因（リスク因子）について解析することを目標とする。
実施予定期間	2020年1月1日～2021年12月31日
研究の方法	当院での入院治療において、2020年1月1日から2021年12月31日までの間に、胆管結石に対して内視鏡治療を行われた方の電子カルテに記載のある診療情報をもとに検討を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症など
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第109回 日本消化器病学会総会で公表する予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	消化器内科 赤松学 023-685-2626